



病院・施設以外でリハ職はどう働いているのか ～地域・教育・株式会社、リハ職の可能性を広げる “外の世界”のリアル～

静岡市内を中心に、デイサービス6事業所、訪問看護ステーション3事業所、居宅介護支援事業所など運営
地域での継続支援を軸に、医療・介護・地域活動をつなぐ取り組みを行っている。
また、伊勢丹との健康分野コラボなど民間企業との保険外事業・地域連携など
“リハ職の視点”を活かした異業種連携も経験。リハ職の可能性を広げる考え方
など講師の実体験をもとにリアルな話をします。



講師：近藤大貴 先生

株式会社ハートピア 代表取締役

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ

日時：2026年6月20日 9:30～11:30

定員：30名 参加費：1,000円

これからの時代に求められるリハ職の役割

多くの事業を拡大されてきた講師の実践経験から学ぶ
リアルな成功モデル

キャリアの可能性を広げる働き方とは



異業種連携の経緯

どうやって伊勢丹とカフェ・健康コラボ事業を始めたのか



豊富な施設設計の経験

医療職としての専門的な知見
施設の運営ノウハウ



様々な事業展開の経緯

現代に求められるサービスとは？

参加申し込み <https://shizuokaotrenmei-r8-0620.peatix.com/view>

静岡県作業療法士連盟

TEL.053-585-1551

<https://shizuokaotrenmei.wixsite.com/shizuoka-occupationa>



静岡県作業療法士連盟

リハ職は、もっと社会でお役に立てる可能性があります。

リハ職の可能性を社会へ伝えていくことは重要です。

それと同様に、自らが社会で生き抜く力を磨くことも必要です。

様々な分野で活躍している講師の実践を通じて 専門職としての可能性を広げ これからの時代に選ばれるスキルを習得するセミナーを企画しました。

【講師からのメッセージ】

日々、患者さんや利用者さんと向き合い、技術を磨き、忙しく働くリハビリ専門職。

その一方で、「この働き方をこの先も続けるのか」

「自分のキャリアはこのままでよいのか」

「もっと役割を広げる道はないのか」

そんな思いを感じたことはないでしょうか。

これからの時代、リハビリ専門職に求められる役割は病院や施設の中だけではありません。

地域支援、在宅支援、教育、連携、事業づくりなど、技術を活かしながら活躍できる場は確実に広がっています。

本セミナーでは、作業療法士として現場を経験し、現在デイサービス・訪問看護・リハビリ等を展開する近藤大貴が、これからの時代に求められるリハ職の役割・キャリアの可能性を広げるために必要な視点・技術だけではない“広げる力”・外に出る際に知っておくべき現実について、実体験を交えながらお伝えします。

「独立しなさい」という話ではありません。

技術を磨く道も、役割を広げる道も、どちらも正しい。

ただ、選択肢を知っているかどうかで未来は変わります。

今後の働き方やキャリアを考えるきっかけとして、ぜひご参加ください。